

池田議員、貞岩議員が聴く
これからの地域づくり
～龍王住民自治協議会が設立されて～

表紙写真／話をお聞きした皆さん

今年3月、市内で48番目の住民自治協議会として、龍王住民自治協議会が設立されました。寺西小学校から分離新設された龍王小学校の校区において、1年近い準備期間を経ての設立でした。設立の経緯やこれからの活動について、高藤会長、三宅事務局長に伺いました。

プロフィール



龍王住民自治協議会
会長 高藤 忠之さん



龍王住民自治協議会
事務局長 三宅 達士さん

未来に向かって、
だれもが輝くまち龍王をめざして

Q 龍王住民自治協議会が設立

された経緯を教えてください。

高藤会長 平成30年に寺西小学

校の児童は1,350人を超えていました。そういった状況でその数年前から分離新設が進められ、平成31年4月に龍王小学校が開校しました。開校と同時

に、学校内の一室を借りて、住民自治協議会の準備室を立ち上げました。三宅事務局長を中心

に準備委員会の役員で様々なことを決めて、令和2年3月1日

に市長をお迎えして設立総会を開催しました。

に市長をお迎えして設立総会を開催しました。

Q 龍王住民自治協議会が設立

されたから良かったことを教えてください。

三宅事務局長 それまでの寺西

住民自治協議会ときは、40以上の自治会がありました。龍王では25自治会です。数が減ったことによって、細かな対応がで

きるのではと思います。龍王小学校区は若い世代の住民が多く、平均年齢は36・7歳です。この力を結集して、事業を行っていきたく考えています。

Q 困っていることがあれば教えてください。

高藤会長 いま一番必要なのは

地域センターです。現在は小学校の一角をお借りしている状態で、みんなが集まれる場所が体育館しかなく、行事を実施したくても体育館が空いてなければできません。



- ① 取材風景
- ② 自治協議会設立総会の様子
- ③ 自治協議会のスローガン
- ④ 龍王夏まつりの様子
- ⑤ 龍王夏まつりの様子（太鼓の演奏）

三宅事務局長 組織の運営に必要な人材の確保が課題だと思います。若い人は増えていますが、顔の見える付き合いができていくかということが問題だと思っています。なお、自治会長が輪番制（順番に交代すること）の地区もありますが、若い自治会長にも活動を知ってもらおうきっかけになるので、輪番制も良い面があると思います。

高藤会長 この小学校校区の世帯数は約4,100世帯です。そのうち自治会加入は2,729世帯で、回覧版による自治協だよりが届いていないのは、約1,400世帯です。自治会未加入の世帯に、自治協の広報をどのようにするか、災害時などどう声をかけていくかを考えています。

Q これからどんな活動をしていきたいですか。

三宅事務局長 昨年の夏に龍王夏まつりを行いました。子育て世代が中心のまちであるので、みんながまとまるものがほしいということではじめました。た

くさんの人に来ていただきました。楽しいことを企画すればみんなが集う、そういう仕組みをつくるのも住民自治協議会の役割と考えています。今年も実施する予定でしたが、「コロナ禍のため中止となりました。来年は実施したいと思っていますし、この地域には外国人市民も多いので、国際交流の場にもしていきたいと考えています。また地域の企業や社会福祉施設、高齢者施設の皆様にも参加していただく龍王夏まつりにしたいと考えています。

高藤会長 防災のことが重要と思っています。8月に自治会長に集まっていたいただき、防災研修を行い、この龍王小学校が避難場所になったことや防災倉庫の設置などをお知らせしました。しかし、災害時に支援を必要とされる方のサポート体制がまだ充分ではありません。とりわけ自治会未加入世帯の方との連絡がとれていません。こうした状態をどのように改善するかがこれからの課題と思います。